



■平成 30 年度定期総会が開催されました

6月16日(土)、「彦三町家」にて、平成30年度定期総会ならびに講演会を開催しました。定期総会においては16名の本人出席、委任状20名があり、昨年度事業報告・収支報告・監査報告と今年度事業計画・収支計画、および特定非営利活動法人金澤町家研究会定款の変更案(「公告の方法」の変更)が承認されました。続いて、研究会活動報告として「金澤町家巡遊2017」、「フードピア金沢2018」、「金澤町家外観悉皆調査」、「金沢市における民間事業者による歴史的建築物活用の実態と自立への課題(文化庁委託事業)」の報告がありました。



定期総会の様子

総会終了後、「尾道空き家再生プロジェクト」と題し、NPO法人尾道空き家再生プロジェクト代表理事の豊田雅子氏による講演会が行われ、26名が参加しました。尾道は古くからの港町として有名ですが、時代の流れによって駅前や港湾は開発され、古い歴史の面影は失われつつあります。その一方、車の入らない斜面地や路地裏は時代に取り残されたように古い家並みが残っていますが、不便さゆえに空き家が増え続け、少子高齢化と中心市街地の空洞化の象徴となりつつあります。そんな空き家の再生事業を通して古い町並みの保全と次世代のコミュニティの確立を目的とした活動についてお話いただきました。

また、交流会は此花町の「長八 金沢駅前店」にて行われ、12名が集い、情報交換や親交を深めました。

【講演概要】

尾道は広島市の東に位置し、南側は瀬戸内海、北側には尾道三山があり山に囲まれた旧市街地で、古くから港町として栄えたが、明治期には鉄道が発達し、その後の車社会により沿岸部にはビルが建ち、港町の風情は失われた。一方で、車が入ることができない路地には懐かしいまちなみが残り、斜面地は斜面にへばりつく様に家が建っているのが特徴で、これらの路地や坂は尾道の魅力でもあるが、空き家問題のメッカとなっている。尾道駅から2km圏内には約500軒の空き家が点在しており、家財はそのまま管理されておらず、廃墟のようにになっているものも多い。



講師の豊田雅子氏

今から20年ほど前、当時大阪で暮らしていた豊田氏は尾道の危機について書かれた記事を見たのがきっかけで、生まれ育った尾道の空き家問題を知った。実際に足を踏み入れてみると、歴史上重要な建物ですら10~20年も空き家となっており、屋根には穴が開き、白アリの被害があるなど、その状況にかなりショックを受けた。路地の建物は個人の財産であり、それぞれ持ち主がいて、他人からとやかく言われたくないというのが本音ではあるが、その一つ一つが尾道のまちなみをつくっており共有の財産である。所有者にも尾道を代表する場所として誇りをもってほしいと思い、何かできないかと考え、空き家探しを始めた。

尾道に帰省するたびに不動産屋をまわったが、空き家はあるものの不動産屋もノータッチでさじを投げている様子。賃貸のリスクは高く、売買するにも高値がつかないため、誰も物件を発掘しようとしないうちに長い期間続いた。尾道市は全国にさきがけて「空き家バンク」を立ち上げたが、物件情報はリストの閲覧のみで写真も図面もないものだった。豊田氏は自分の足でひたすら路地を歩き、気になる物件があったら近所の人に大家さんについて聞き回るなど、6年間程空き家探しを行った。その後、尾道に住まいを移し、ある1件の空き家と出会い、今の活動がはじまった。

豊田氏は子育てしながら家の様子や掃除・片づけの様子、尾道の空き家事情などブログで発信し、かなりの反響があった。そのほとんどが、移住や空き家の購入希望者であり、そのような仲間が徐々に増え、個人で活動するよりも団体として尾道のまちづくりに取り組もうと、2007年7月に市民団体「尾道空き家再生プロジェクト」を発足した。豊田氏自身は建築の専門家ではないが、尾道が好きという想いで「〇〇×空き家」をテーマに環境・アート・コミュニティ・建築・観光など様々な取り組みをし、普通に考えても解決が難しい問題について、色々な視点で問題の解決策を見出す活動に取り組んでいる。

■「金澤町家巡遊」今年も開催します

今年も「金澤町家巡遊 2018」開催いたします。

今回の開催日程は、10月5日（金）～10月21日（日）を予定しております。

今回はメインエリアを「森山界限」とし、ツアーや限定の町家公開など企画します。森山界限には、空き家となっている町家も多く、また最近はこのエリアで町家を活用した宿泊施設なども増えてきております。ひがし茶屋街の有名観光地からも程近い場所にありながら、落ち着きがあり、また一方で個性的なまちの魅力をご紹介できればと思います。また、元町の立派な明治期の農家建築や卯辰山麓寺院群内のお寺のお庭公開、新しい試みとして片町界限で夜のツアーなども企画しました。

町家ショップの皆さまによるショップイベントも多数企画いただきましたので、イベントガイドを是非ご覧いただき、ふるってご参加ください。



金澤町家巡遊 2018
イベントガイド

■金澤町家学生会議が発足しました

5月に金澤町家学生会議が発足しました。学生たち自らが金沢の文化や金澤町家を学び、金澤町家の知識の普及や活用のための活動を行います。現在、金沢大学、金沢工業大学、金沢学院大学、金沢美術工芸大学、石川工業高等専門学校が参加しています。早速、金沢市の助成事業を申請し、「若者目線の町家発信（協働のまちづくりチャレンジ事業）」と「古き良き金澤町家と和の合同文化祭（文化施設を利用した文化の人づくり事業）」が採択されました。金澤町家巡遊 2018 の関連イベントとして10月21日（日）に金沢湯涌江戸村で「古き良き金澤町家と和の合同文化祭」を行います。当日は「いしかわ文化の日」のため、石川県民は入場料無料です。

■金澤町家研究会「彦三町家」が登録有形文化財に登録されました

7月20日、「彦三町家」を登録有形文化財（建造物）として登録することを、国の文化審議会から文部科学大臣に答申されました。

■平成30年度 優良金澤町家認定

今年も優良金澤町家の候補を募集しております。10月下旬までに選考し、12月上旬に認定式および講演会を予定しております。詳細は後日ご案内いたします。

■「金澤町家塾」開催します

今年度も金沢市より事業委託を受け「金澤町家塾」を開催します。

- ・10/13（土）10：00～11：30「菊川界限の足軽屋敷探訪」ガイド：増田達男（金沢工業大学教授）
※参加予約申込 9/25（火）9：00～受付開始／金澤町家情報館（電話 076-208-3231）
- ・11/17（土）午前には本多町界限の上屋敷・下屋敷探訪、同午後は金澤町家情報館で町家と暮らしをテーマにした座学を行います。（別途、後日ご案内いたします）

■優良金澤町家紹介コーナー

◇ビストロ ユイガ（水溜町4-1）

中央通り縦町交差点から路地の奥まったところに佇むフレンチレストラン。水溜町は武士系の「こまちなみ保存区域」に指定され、落ち着いた町並みが続いています。武家住宅を起源に持つ近代和風住宅の玄関に入ると、天井裏を見せた空間が建物の雰囲気醸し出しています。



【ビストロ ユイガ 月・第1火休、12：00-13：30L.O.（平日のみ）、18：00-21：30L.O.】 ビストロ ユイガ

NPO法人
金澤町家研究会

【お問い合わせ】 事務局

〒920-0854 金沢市安江町4番20号

Tel. 076-254-0647 / fax. 076-254-0657

E-mail kanazawa-machiya@nifty.com <http://kanazawa-machiya.net>